

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-129006(P2003-129006A)

【公開日】平成15年5月8日(2003.5.8)

【出願番号】特願2001-332091(P2001-332091)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 11/06

【F I】

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月24日(2004.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) メタクリル酸メチルを主体とする単官能不飽和单量体を50~99重量部、(B) メタクリル酸メチルを主体とする不飽和单量体の重合体を1~50重量部、(C) ラジカル重合可能な二重結合を分子内に少なくとも2個有する多官能不飽和单量体を成分(A)および(B)の合計100重量部に対して0.01~2重量部、および(D) 10時間半減期温度が40~60の有機過酸化物を成分(A)および(B)の合計100重量部に対して0.01~1重量部含有することを特徴とする樹脂用接着剤。

【請求項2】

さらに、(E) 10時間半減期温度が61~120の有機過酸化物を成分(A)および(B)の合計100重量部に対して0.01~2重量部含有する請求項1記載の樹脂用接着剤。

【請求項3】

少なくとも2枚の樹脂板を、請求項1または2に記載の樹脂用接着剤で接着してなる樹脂積層板。

【請求項4】

少なくとも2枚の樹脂板を請求項1または請求項2に記載の樹脂用接着剤で接着することを特徴とする請求項3に記載の樹脂積層板の製造方法。

【請求項5】

樹脂板と樹脂板との間に空隙を設け、該空隙に請求項1または請求項2に記載の樹脂用接着剤を入れて重合硬化させる請求項4に記載の製造方法。

【請求項6】

樹脂板の表面に請求項1または請求項2に記載の樹脂用接着剤を塗布し、その上に別の樹脂板を重ねた後、前記接着剤を重合硬化させる請求項4に記載の製造方法。